

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』に基づく再エネ出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量等（エリア需要予想、連系統活用量）を上回ることが見込まれたことから、余剰電力を満たす発電事業者さまに対して、以下の内容で、出力抑制の指示等を行いました。

対象エリア:北海道エリア（本土）

太陽光・風力出力制御日数：3日

2026年度実績

[2026年4月8日現在]

[万kW]

通し番号		5	6	7	8
出力制御内容	発 信 日	4月5日(日)15時頃 (前日指示)	4月7日(火)17時頃 (前日指示)	4月8日(水)16時頃 (前日指示)	
	バイオマス・太陽光・風力 出力制御期間	4月6日(月) 9時00分～14時30分	4月8日(水) 8時00分～16時00分	4月9日(木) 8時30分～14時30分	
	最大余剰電力 ^(注1) 発生時刻	12時00分 5 12時30分	12時00分 5 12時30分	12時00分 5 12時30分	
	バイオマス出力制御量 ^(注2)	5.2	5.2	5.2	
	太陽光・風力出力制御量	0※～17.6	37※～46.4	0※～50.4	
	予想需給状況	エリア需要 ^(注3) ①	305.8	314.0	302.9
大容量蓄電池の充電 ・揚水運転 ^(注4) ②		36.0	36.0	36.0	
連系統潮流 ^(注5) ③		▲ 9.1	30.4	32.2	
小 計		332.7	380.4	371.1	
供給力 ^(注6) ④		355.5	432.0	426.7	
(再掲)バイオマス・ 太陽光・風力 出力		(244.4)	(318.4)	(297.1)	
バイオマス・太陽光・風力 出力制御必要量 ^(注7) (5)=④-①-②-③ ⑤		22.8	51.6	55.6	

(注1)実績（速報）は制御量最大となる時間帯

(注2)専焼および地域資源を対象とする

(注3)最大余剰電力発生時刻におけるエリア需要

(注4)揚水発電所を最大限活用

(注5)北海道一本州間連系統を最大限活用し、域外へ送電（マイナスは本州エリアからの受電を指す）

(注6)優先給電ルールに基づき火力発電等を最大限抑制

(注7)再エネ出力制御量の増減については、需給状況を踏まえ遠隔制御が可能な事業者にて対応

※オフライン制御で確保する制御量

【特記事項】

・再エネ出力制御量のうちオフライン制御量を超えるものは、需給状況を踏まえ、オンライン制御で対応

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』に基づく再エネ出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量等（エリア需要予想、連系線活用量）を上回ることが見込まれたことから、余剰電力を満たす発電事業者さまに対して、以下の内容で、出力抑制の指示等を行いました。

対象エリア:北海道エリア（本土）
2026年度実績
〔2026年4月8日現在〕

太陽光・風力出力制御日数：3日

[万kW]

通し番号		1		2		3		4	
出力制御内容	発 信 日	3月31日(火)17時頃 (前日指示)	4月1日(水)実績 (速報)	4月2日(木)17時頃 (前日指示)	4月3日(金)実績 (速報)	4月3日(金)17時頃 (前日指示)	4月4日(土)実績 (速報)	4月4日(土)17時頃 (前日指示)	4月5日(日)実績 (速報)
	バイオマス・太陽光・風力 出力制御期間	4月1日(水) 10時30分～13時00分	4月1日(水) 9時30分～13時00分	4月3日(金) 10時00分～14時00分	4月3日(金) 9時00分～15時39分	4月4日(土) 8時00分～13時00分	4月4日(土) 8時00分～12時30分	4月5日(日) 8時30分～16時00分	4月5日(日) 8時30分～15時30分
	最大余剰電力 ^(注1) 発生時刻	12時00分 5	10時30分 5	11時30分 5	11時30分 5	10時30分 5	8時00分 5	11時00分 5	13時00分 5
	バイオマス出力制御量 ^(注2)	5.3	5.2	5.4	5.2	5.3	5.2	5.3	3.1
	太陽光・風力出力制御量	0※～17.5	22.0	0※～16.5	5.1	0※～7.6	—	0※～61.6	15.0
	予 想 需 給 状 況	エリア需要 ^(注3) ①	322.6	349.8	329.3	346.2	285.8	301.4	269.8
大容量蓄電池の充電 ・揚水運転 ^(注4) ②	35.8	30.4	36.0	33.6	36.0	17.8	36.0	31.4	
連系線潮流 ^(注5) ③	▲ 6.4	5.7	▲ 9.1	▲ 22.6	51.8	24.7	▲ 15.4	▲ 14.3	
小 計	352.0	385.9	356.2	357.2	373.6	343.9	290.4	298.3	
供給力 ^(注6) ④	374.8	413.1	378.1	367.5	386.5	349.1	357.3	316.4	
(再掲)バイオマス・ 太陽光・風力 出力	(259.7)	(251.7)	(273.2)	(255.7)	(280.3)	(201.2)	(262.9)	(211.8)	
バイオマス・太陽光・風力 出力制御必要量 ^(注7) ⑤=④-①-②-③	22.8	27.2	21.9	10.3	12.9	5.2	66.9	18.1	

(注1)実績（速報）は制御量最大となる時間帯
(注2)専焼および地域資源を対象とする
(注3)最大余剰電力発生時刻におけるエリア需要
(注4)揚水発電所を最大限活用
(注5)北海道一本州間連系線を最大限活用し、域外へ送電（マイナスは本州エリアからの受電を指す）
(注6)優先給電ルールに基づき火力発電等を最大限抑制
(注7)再エネ出力制御量の増減については、需給状況を踏まえ遠隔制御が可能な事業者にて対応
※オフライン制御で確保する制御量

【特記事項】
・再エネ出力制御量のうちオフライン制御量を超えるものは、需給状況を踏まえ、オンライン制御で対応